

徳島大学長の挨拶	1
徳島大学における地域連携事業・体制の概要	2
<b>地域連携戦略室の主催事業</b>	
■ タウンミーティング	7
平成27年度 タウンミーティング(第12回)	
まちごとファクトリースタートアップ・フォーラム「まちごと」を創りだす	
～地域におけるスモールビジネスの可能性と実践～	
■ 文部科学省COC+事業 とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム	9
キックオフシンポジウム	
■ パイロット事業支援プログラム(社会貢献)採択事業	
徳島県・明治大学との連携によるモラエス顕彰事業の整備と充実	10
知的財産を活用した地域連携型創造教育手法の開発	11
徳島県内脳卒中疾患を含めた神経疾患のwebカンファレンスシステムの構築(Tokushima Network)	12
糖尿病発症者に対し、実行可能な生活習慣改善支援プログラムを用いた医療経済効果の検証	13
ICTを活用した糖尿病地域医療連携におけるEHRからPHRへの展開	14
3Dプリンタの地域応用と社会イノベーション促進に向けたグローバル人材育成プログラム「ファブラボin徳島」	15
LEDアート作品による地域貢献活動	16
南海トラフ地震に向けた地域継続戦略の構築と協働事業	17
神山学舎活性化事業	18
上勝学舎活性化事業	19
徳島大学・明治大学・徳島県連携事業	20
■ ガレリア新蔵活動報告	21
<b>地域連携の取組</b>	
病院	22
大学開放実践センター	25
情報センター	26
国際センター	27
環境防災研究センター	28
地域創生センター	29
研究支援・産官学連携センター	30
農工商連携センター	31
<b>にしあわ学舎の取組状況</b>	32
<b>美波町地域づくりセンターの取組状況</b>	33
<b>徳島大学における地域連携事業一覧</b>	34
<b>報道記事に見る徳島大学の地域貢献事業</b>	40

## 成果報告書の発刊に寄せて



徳島大学は、教育、研究、社会貢献を使命の3本柱として掲げています。

平成27年度には、本学が申請校となった「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」が、文部科学省による「平成27年度地(知)の拠点大学による地域創生推進事業(COC+)」に採択されました。

本事業は、県内の高等教育機関、徳島県、経済団体、企業及びNPO法人等が一体となり、就職率向上と雇用創出が見込まれる「次世代技術関連分野(LED・自動車・ロボット等)」、「地域医療・福祉関連分野」、「6次産業化関連分野」、「地域づくり・観光・ICT関連分野」の4分野における若者定着・雇用創出に取組、学生の地元就職率の向上を目指します。

そして平成27年12月15日、本プログラムに参画する徳島県及び県内の高等教育機関による連携・協力に関する協定が締結され、平成28年2月9日には、県内の高等教育機関、徳島県、経済団体、企業及びNPO法人等に参加いただき、「第1回とくしま元気印イノベーション人材育成協議会」が開催されました。

平成28年3月8日には、『「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」キックオフシンポジウム』が開催されます。

一方、平成27年9月に完成した「地域創生・国際交流会館」には、所属や立場の異なる多様な関係者が集まる未来

志向のアイデアや解決手段を見つけ出す『フューチャーセンター「A.BA」』を設置しました。

『フューチャーセンター「A.BA」』は、国立大学としては初めての施設で、3Dプリンター等の最新機器を備えた、未来志向の“ものづくり”を行う「ファブラボ」、地域の高校や企業と連携し、地域の産物を利用した新たな製品作りを行う「キッチンラボ」等を設置しています。

同施設には、新蔵地区から「地域創生センター」を移設し、地域連携の総合窓口を置き、ワンストップで市町村や地域の方々からのご意見やご要望に対応します。

こうした取組により、地域の課題解決や再生など、これまで行ってきた地域貢献をさらに充実させてまいります。

このたび、これらの活動や各部署が実施した地域貢献に関する活動を成果報告書としてまとめました。この報告書は、本学ホームページ([http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/area\\_cooperation/](http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/area_cooperation/))でもご覧いただけます。

今後、大学における地方創生に向けた取組が求められる中で、地域の課題解決やグローバル人材の養成など多彩な取組を進めるとともに、地域とのつながりをさらに強化することにより社会貢献に努めてまいりたいと考えています。

徳島大学長

新 行